

「転んでも、大丈夫：ぼくが義足を作る理由」

臼井 二美男・著

□なぜこの本を選んだかと言うと、だからです。

□表紙の義足の男の子の写真を見たとき、と思いました。

□「技師装具士」という職業は知りませんでした / はじめて知りました /

興味がありました / 聞いたことがありました。最初、

と思いました。

□義足を必要とする人のために朝から晩まで働く臼井さんは、

だと思いました。

□義足の人スポーツをするということを読んで、

と思いました。

□オリンピックと同じ年に行われる「パラリンピック」について、

知りませんでした / はじめて知りました / テレビで見たことがありました。

私はと思いました。

□臼井さんの義足でスポーツをする人の話がたくさん紹介されています。

一番感動した / おどろいた / ためになった / ドキドキした のは、

のお話 / 場面 です。

なぜならだからです。

その話 / 場面で私はという気持ちになりました。

□もし自分が足を失ったとしたら、と思いました。

本の中の人たちのように、義足で生活が / スポーツができるか考えました。

私はと思いました。

□私はこの本を読んで、技師装具士という職業についてだけでなく、

ということ学びました。

ということが大切だと考えました。